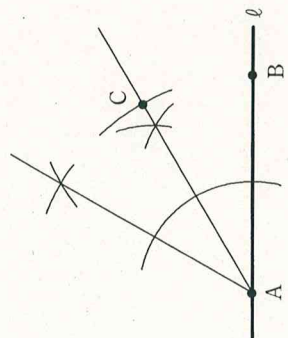


1		2	
問1	28	問1	6
問2	$-\frac{2}{3}, -1$	問2	8
問3	$a = 2, b = 1$	【途中の式や計算など】	
問4	$(\frac{a+2b}{3})\%$	問1	6
問5	およそ 50 個	問2	8
問6	30π cm ³	【証明】	
問7	6	問1	6
解答例		問2	8

四角形 APBQ は平行四辺形であるから、
 点 P と点 A との y 座標の差は、
 点 B と点 Q との y 座標の差と等しくなる。
 点 A と点 B の座標は、
 それぞれ $(-3, 3), (9, 27)$ である。
 点 P の座標を (s, t) とおくと、
 点 P と点 A の y 座標の差は、
 $t - 3$
 点 B と点 Q との y 座標の差は、
 $27 - 18 = 9$ より、
 $t - 3 = 9$
 $t = 3 + 9 = 12$
 点 P は曲線 f 上の点であるから、
 $12 = \frac{1}{3}s^2$ より、 $s^2 = 36$
 $-3 < s < 9$ より、 $s = 6$
 したがって、
 点 P の座標は、 $P(6, 12)$



3		4	
問1	$(60 - \frac{a}{2})$ 度	問1	6
問2	【証明】	問2	8
解答例	$\triangle APQ$ と $\triangle BCQ$ において、 対頂角は等しいから、 $\angle AQP = \angle BQC$. . . ① 2点 B, Cが、直線 AP について同じ側にあり、 $\angle ABP = \angle ACP$ だから、 円周角の定理の逆より、 4点 A, B, C, P は同じ円の周上にある。 \widehat{AB} に対する円周角は等しいから、 $\angle APB = \angle BCA$ すなわち、 $\angle APQ = \angle BCQ$. . . ② $\triangle APQ \sim \triangle BCQ$	問1	6
問3	$\sqrt{5}$ cm ²	問2	8

4		5	
問1	$\frac{2\sqrt{7}}{3}$ cm	問1	6
問2	【途中の式や計算など】	問2	8
解答例	四角すい A-EPRQ は、 2つの三角すい P-AER と Q-AER に 分けることができる。 それぞれ底面は $\triangle AER$ で共通、 $BD \parallel PQ$ より、 $PQ \perp \triangle AER$ であるから、 2つの三角すいの底面を $\triangle AER$ としたときの 高さの和は PQ である。 三平方の定理より、 $PQ = BD = \sqrt{6^2 + 6^2} = 6\sqrt{2}$ 、 $AC = \sqrt{6^2 + 6^2} = 6\sqrt{2}$ $\triangle AER$ の面積は、 $\frac{1}{2} \times AE \times AC = \frac{1}{2} \times 6 \times 6\sqrt{2} = 18\sqrt{2}$ よって、求める体積は、 $\frac{1}{3} \times \triangle AER \times PQ = \frac{1}{3} \times 18\sqrt{2} \times 6\sqrt{2}$ $= 72$ (cm ³)	問1	6
問3	$\frac{18\sqrt{3}}{7}$ cm	問2	8

(答え)		72	cm ³
問3	$\frac{18\sqrt{3}}{7}$ cm	問3	6